

2015 年 6 月 10 日

リチウムイオン二次電池用セパレータの生産能力を倍増

住友化学は、リチウムイオン二次電池用セパレータ（商標名「ペルヴィオ®」）の生産能力を 2 倍強に引き上げることを決定しました。既存の大江工場（愛媛県新居浜市）の生産能力を来年春までに約 1.3 倍に増強するとともに、韓国の当社子会社内に工場を新設します。韓国の新工場は 2017 年から量産開始予定です。

リチウムイオン二次電池は、電気自動車やスマートフォンの高機能化や軽量化、長時間使用などのニーズに応じて、一段の高容量化と、安全性の両立が求められています。当社の「ペルヴィオ®」は、ポリオレフィン基材にアラミド樹脂で耐熱層を形成することにより電池の安全性確保に寄与する点が特長で、パナソニック株式会社の円筒形リチウムイオン二次電池への採用を通じて、主に車載用途で採用されています。

近年、消費者の環境保護に対する意識の高まりや、厳しさを増す環境規制などを背景に、自動車メーカー各社が電気自動車を相次いで市場投入しており、リチウムイオン二次電池の車載用途の需要が拡大しています。住友化学はこれに対応し、段階的に「ペルヴィオ®」の生産能力を引き上げてきましたが、一段の需要の拡大が見込まれるため、既存の大江工場の能力を増強する一方で、分散立地による安定供給体制の構築や将来の拡張余地などを考慮し、韓国の当社子会社に新工場を設置することとしました。

住友化学は、「環境・エネルギー」分野を次世代事業開発における重点の一つと位置づけしており、効率的なエネルギー利用を支える電池関連部材については、「ペルヴィオ®」をベースとした事業クラスターの確立を目指し、革新的な技術開発および事業の強化を進めてまいります。

以上